

## 認知行動療法フォローアップ講座 変更のお知らせ

現在第3日曜日に行っておりました、認知行動療法フォローアップ講座は、7月より第2土曜日12時～13時半 ひだクリニックセントラルパークにて行います。自立支援もセントラルパークへご変更ください。

### 【休診のご案内】

ひだクリニック：土曜・祝日 休診

ひだクリニックセントラルパーク：水・日曜日祝日休診

急に具合が悪くなった場合は、主治医がいなくても応急対応をいたしますのでご相談ください。休診の場合は、空いている方のクリニックで対応いたしますので、まずは、お電話にてご連絡ください。

自立支援は登録医療機関のみご使用になれます。



### 【ご案内】

日曜日の家族教室は、ひだクリニック3階るえかホールにて行っております。

6月18日（日）10時～12時 家族sst

6月18日（日）14時～16時 サイコドラマ

6月18日（日）15時～16時半認知行動療法フォローアップ講座

ひだクリニックセントラルパークにて

6月25日（日）10時～12時 ふぁみりーテーブル基礎講座

「シンポジウム」当院経験者

7月 6日（木）16時半～20時 クローバーファミリー

～ぶーけ家族懇談会と家族sst～ セントラルパークにて

7月 2日（日）10時～12時 「べてる式家族当事者研究」

7月 9日（日）10時～12時 わいわい講座「就労について」

### 【編集後記】

「多機能型診療所研究会」に参加してきました。あらためて、当院の良さを感じたり、改善点が見えたりしました。今後、さらによりよいクリニックをめざしていきたいと思います（み）



宙麦会グループ 株式会社MARS 5つめの事業所としてこのほど「生活介護事業所そにあ」がオープンしました。「そにあ」はラテン語で夢を表します。

南流山駅1分の立地にあり、ほっとできる空間です。畳のスペースで横になったり、みんなとテーブルを囲んで食事をしたり、第二の家庭のような居場所です。

主に、精神的にはある程度安定しても、生活面でのサポートがあるとよ

いとか、ながく引きこもっており対人面に不安がある方などが対象です。

「そにあ」は、生活介護を目的としており、仲間と一緒に食事をした

り、  
お茶をしたり、掃除をしたり、お風呂に行ったりという生活のことをしたり、それぞれの良さを生かして、作業も行います。



大きな集団のデイケアには、はじめなかった方もここでは、生き生きと活動されており人にはそれぞれあった場が与えられると、こうも違うのかと、変化にうれしい驚きです。

「そにあ」の見学会があります。お気軽にお越しください。

### そにあオープンDAY～見学・体験会～

日時H29年6月19日、20日、21日

9：30～16：00 お好きな時間にどうぞ

対象：生活面で必要な支援を要する慢性疾患のある方

：自力で通所、排泄、服薬ができる方

：自傷行為、他害行為をしない方

お申し込みは TEL 04-7157-6640

FAX 04-7179-5560

～その13～



前号から「治療共同体」についての話しをすすめています。キングスレイ・ホールの続きです。キングスレイ・ホールは医療機関ではなくて、ハウスホールド（共同生活施設）、まさに家に近い様相を帯びてきました。ここに出てきた考え方の芽が、今のグループホームにつながっているのかもしれませんが。グループホームの中には世話人がいますが、基本的にはヒエラルキーはないというのが前提になっています。反精神医学そのものが良いかどうかわかりませんが、そのときに考えられた概念やコンセプトは形を変えながら今に残っていると思います。そのほかに、薬物療法に依存しないコミュニティケアの試みはいろいろありました。先の「キングスレイ・ホール」やクーパーの「ヴィラ21」もそのひとつでしょう。

近年では、E.チオムピラによって創始されたソテリア・ベルンの試みがあります。ソテリアはソテリアとも言われますが、治療・回復を意味します。各国でソテリア・プロジェクトが継承されています。例えば、日本では、多摩川ソテリアという名前のNPOもあります。ソテリアというのは、40年前にアメリカ・サンフランシスコで始められました。精神障

がい者への地域医療のプロジェクトです。創始者のモシャーは、

- ・小さい家庭的な環境のなかで支援する
- ・支援を行う者は寛容な態度で接する
- ・1日24時間、利用者個人に対応する

といった生活上の工夫によって、当時は特に副作用の問題が大きかった抗精神病薬を使用しないか、わずかの使用で統合失調症からの回復を目指しました。



## 第24回『るえかふぁみりーテーブル』

### 基礎講座（H29年後期）のご案内

『るえかふぁみりーテーブル基礎講座』はひだクリニックで行われる「家族教室」です。病気の知識や患者さんへの接し方を勉強するとともに、ご家族自身が楽になるためのものです。開院当初から始まり、今回で第24回目となります。平成29年後期の日程が決まりました。ぜひ、ご参加下さい。講師の都合により、順番が変更することもあります。

詳しくは、ポスター、ちらしなどでご確認ください。

7月23日（日）病気について（肥田院長）

8月27日（日）薬について（薬剤師）

9月24日（日）家族として病気と付き合うために  
（木村副院長）

10月22日（日）家族のかかわりについて  
（石川臨床心理士）

11月26日（日）自立のための社会資源・制度  
（宮崎精神保健福祉士）

12月24日（日）シンポジウム（当院経験者）



宙麦会&MARSスタッフのバトンリレーのページです。  
今月は、訪問看護ステーションすびか 増田さんです

こんにちは。訪問看護ステーションすびかの看護師の増田紀子です。クリニックでの研修後、昨年10月から訪問看護に従事しています。経験豊富なスタッフの皆様を支えられ、宙麦会に入り2年目を迎えることができました。

出身は東京葛飾区、にぎやかな商店街で育ちました。人生の転機に、千葉・埼玉と転居し、今は茨城県取手市に住んでいます。四季折々の利根川や筑波山の変化を感じることが出来る自然豊かなところです。最近は、散策をして、自分だけのスピリチュアルゾーンを見つけるのが楽しみです。

これまで、主に身体障害者・高齢者の方々への訪問看護を経験して参りました。

近年、早期退院と地域医療の活性化に向けた取り組みが推進される中、訪問看護のニーズが高まっているものの、訪問看護師不足が深刻化しています。殊に精神科訪問看護に至っては、その経験値から、対応できる事業所も限られており、まだまだ発展途上の分野です。私自身、学ぶことが本当にたくさんあります。今年は、学びを深め、視野を広げてより適切な連携ができるように努力したいと思っています。

訪問看護の役割の一つに、健康的な生活を共に考え、その実践を支えるというものがあります。皆様と、時に同じものを見て感動したり、時に一緒に悩みながら、ひとりひとりがその人らしい生活が出来るよう支援できればと思っています。まだまだ未熟ですが、今後ともよろしく願います。

次は、マーレの太陽、櫻田さんにバトンをお渡しします。

